

発明ワークシート

2021年8月
INPIT 知財人材部

発明やデザインを創造するにあたって、次のようなステップで検討すると、比較的、創造体験が容易になります。

「1. テーマの選定」、「2. 発想」、「3. 従来技術・デザイン調査」、「4. 実現性の評価」の4つの段階がありますが、順に考えてみましょう。これであなたも発明ができるはず！

「1. テーマの選定」

- ① 興味があるテーマ
- ② 世の中で話題になっているテーマ

↑あなたはどちらのテーマが気になりますか？

① 興味があるテーマ

どのようなテーマでしょうか？
思いつくだけ、書き出してみましょう！

② 世の中で話題になっているテーマ

例えば、以下のようなテーマが挙げられます

- 1. コロナといえば・・・マスク、フェイスシールド、飛沫予防のビニールシート
- 2. SDGs・・・目標17個ありますが、何か気になる目標はありますか？

他に身の回りで話題になっているテーマはあるでしょうか？

書き出してみましょう！

「2. 発想」

テーマが決まったら発想を行います。

<ポイント>発想としては以下の観点に注目すると良いでしょう。

- (A) 気になっていること
- (B) 不便に感じていること
- (C) OOだったら良いのに、と思うこと

1. どれか心にひっかかる観点はありますか？(A)～(C)から1つ選んでみましょう
→ ()

2. そして、どのようなことが思い浮かびますか？具体的に書いてみましょう！

この記載が応募書類「発明提出書」における【2 発明の背景】の記載となります！

3. (A)～(C)を解決するために、どうしたら良いでしょうか？

考えてみて、実際に書き出してみましょう！

()

↓スケッチを描いたり、写真を撮ったりしてアイデアを具体化してみましょう。

このアイデアの具体化が応募書類「発明提出書」における【資料】となります！

上手くアイデアがまとまりましたか？どんなアイデアが形となったでしょうか？
書き出してみましょう！

この記載が応募書類「発明提出書」における【3 発明の概要】の記載となります！



また、このアイデアは一言で言うと何と言えるでしょうか？
書き出してみましょう！

この記載が応募書類「発明提出書」における【1 発明の名称】の記載となります！



「3. 従来技術・デザイン調査」

実際に検索をしてみましょう。

今回は、誰でも無料で利用でき、調査が可能な「J-PlatPat」を用いて検索してみます。

J-PlatPat (https://www.inpit.go.jp/j-platpat_info/index.html)から



図 1. INPIT トップページ

調査は主に、分類検索とテキスト検索に分かれますが、今回は簡単に調査できる、テキスト検索 (<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/p0100>)を選んでみましょう！



図 2. JPP 特許・実用新案検索トップページ

p 2 での

この記載が応募書類「発明提出書」における【2 発明の概要】の記載となります！

()
にて、ポイントの用語(この用語無くしてはポイントが語れないくらい!)を抜き出してみま
しょう。以下では①～③の3つあったと仮定します。

- (①)
(②)
(③)

①～③の言い換え(または異なる表記の仕方。ひらがな、カタカナ、漢字など)は思いつきま
すか?以下に書き出してみましよう。

- (①')
(②')
(③')

The screenshot shows a search interface with the following elements:

- 検索キーワード** (Search Keywords): A section with four rows of search criteria, each with a dropdown menu for the search item and a text input for the keyword.
- 検索項目** (Search Item): A dropdown menu set to "要約/抄録" (Summary/Excerpt).
- キーワード** (Keyword): A text input field.
- AND**: Logical connectors between the search criteria.
- 除外キーワード** (Exclusion Keyword): A section for specifying keywords to exclude from the search.
- 検索オプション** (Search Options): A section for specifying search options.
- 検索** (Search): A blue button to execute the search.
- クリア** (Clear): A button to clear the search criteria.
- 条件を論理式に展開** (Expand conditions to logical formula): A button to expand the search conditions.
- 検索結果一覧** (Search Results List): A section showing the search results.
- ヘルプ** (Help): A button for help.

検索項目	キーワード
要約/抄録	ふた フタ 蓋
全文	例) 感染を予防
要約/抄録	ラップ
要約/抄録	食品

除外キーワード: 検索から除外するキーワードを指定します。 開く +

検索オプション: オプション指定: なし 開く +

検索結果一覧: 国内文献 (146) 外国文献 (-) 非特許文献 (-) ヘルプ

上の図のように「検索項目」を「要約/抄録」とし、
「キーワード」を「①の用語 (半角スペース) ①' の用語」AND「②の用語 (半角スペース) ②' の用語」AND「③の用語 (半角スペース) ③' の用語」として、式を掛けてみましょう!

※「AND」を使うと両方の用語を共に含む文献の検索が出来ます。

Google 検索のように一行に空白をはさんで「フェースシールド 完全防備」や、「フェースシールド AND 完全防備」と記載した場合は、前者は、「フェースシールド」か、「完全防備」のどちらか一つを少なくとも含む文献を、後者は、「フェースシールド」、「AND」、「完全防備」の三つの内、少なくとも一つを含む文献が検索され、大量の文献が表示される可能性が高いです。

この検索式が応募書類「発明提出書」における【4 調査内容】の記載となります！
()

もし検索結果の件数が多かったら、ポイントの用語を増やして(上記例だと④の用語を作る)、ANDで掛ける要素を多くしてみたりしてみましょう。

調査結果の中から本発明に最も近い技術(先行技術)について、公報番号と概要を書いてみましょう！

この先行技術文献の公報番号と概要が、応募書類「発明提出書」における【4 調査内容】の記載となります！
(先行技術の公報番号：)
(先行技術の公報番号に記載された概要：)

先行技術文献を探したことにより、相対的に、自分の考えたアイデアの形が具体的にまとまってきましたか？

ご自身の考えたアイデアについて、全体の構成・パーツ毎の特徴・アイデアの効果・図面を順に書き出してみましょう。

この全体の構成・パーツ毎の特徴・アイデアの効果・図面が応募書類「発明提出書」における【5 発明の内容】および図面となります！
<全体の構成>
<パーツ毎の特徴>
<アイデアの効果>
<図面>

これで、ワークシートの記入とともに、応募書類「発明提出書」における記入事項の事前検討も全て終わりました。

あとは、正式な応募用紙に転記して応募するだけです！お疲れ様でした。